



# セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド

## 運用報告書(全体版)

第12期 (決算日 2018年12月10日)

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、主として米国バンガード社が運用する株式と債券のそれぞれのインデックスファンドの中から資産規模、運用実績、コストなどの面から厳選したファンドに分散投資します。具体的な資産配分は運用状況ならびに市場状況に応じて随時変更(増減ならびに入替など)します。原則として、為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	有価証券に投資する外国投資証券を投資対象とします。
組入制限	①外貨建資産への投資には制限を設けません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券ならびに短期金融資産以外の有価証券への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。 ⑤一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。 信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

### 受益者の皆さまへ

平素は「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、第12期決算を行いましたので、当期の運用状況をまとめております。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を、変わらずに行って参りましたことを合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期資産形成のお役に立てるよう、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



## セゾン投信

### ■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口  
〒170-6048 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 48F  
[ホームページ] <https://www.saison-am.co.jp>  
[電話番号] 03-3988-8668  
[営業時間] 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

## ごあいさつ

当ファンドの第12期は、通期で振り返ると秋口までの上昇基調が10月初めから下落トレンドに大転換して、年間リターンは△3.2%と若干のマイナスで決算を迎える残念な1年となりました。

米国にトランプ政権が誕生して以降、米国経済はトランプ減税効果でアクセルが更に踏み込まれ、個人消費が喚起されると共に、米企業に対する減税でもたらされた効能は2割もの利益成長につながって、多くの米企業がそれを原資に自社株買戻しを盛んに行うことで米株式市場は株価上昇が加速されました。

秋口からの相場下落はこうした嵩上げされた価格水準が来年以降の減税効果の反作用を織り込み始めた自律的修正でもあり、その根底には米中貿易戦争の経済活動におけるマイナスの影響が大きく意識されたことに拠ると言えましょう。

米中両大国の国家的覇権争いに直結する今般の懲罰関税合戦は、当然の帰結として日欧先進国経済の貿易停滞につながり、各企業の設備投資意欲も削ぐもので、世界経済全体の同時好況も終焉して、この先も暫しは相応な世界的な成長減速を余儀なくされると考えられます。それでも地球経済のグローバリゼーション構造は、やがてしっかりと自律的代替機能を発揮する。即ちアジア地域をはじめとした新興国経済が、中国経済に換わる役割を捉えて新たな成長機会に繋げることで、再び地球経済全体の成長軌道に則ったグローバリゼーション構造は、次なる成長の源泉をしっかりと生み出すことでしょう。

今グローバルに起きているのは第4次産業革命とも言われる新情報技術の劇的進化がもたらす、まったく新しい産業構造と労働者の働き方、そして生活者の様式が抜本的に変わるほどの社会構造のパラダイムシフトです。それはあたかもかつて手塚治虫さんが描き、ドラえもんで表現された如き近未来の夢の世界が具現化する途上に在るわけで、そうしたグローバルなイノベーションが実現させる将来のより豊かな地球経済に向けて進んで行くのが長距離列車「セゾン号」です。

米欧の金融緩和が終了しても尚、世界的な低インフレと低金利状況は継続するであろうことから、株式と債券のコンビネーションによるグローバルバランスポートフォリオは、これからの長期投資に大いに有効に機能する外部環境となるはずで、当ファンドは相変わらず、その運用方針をしっかりと堅持して、長期に亘るメガトレンドと呼べる大河の流れに自然体で乗って、地球経済と共にお金が育つ前提の長期運用戦略を継続してまいります。

当ファンドの当期末純資産残高は期初から125億円増加し1,664億円となり、国内有数の長期国際分散型バランスファンドの立場を一層確立しております。長距離列車「セゾン号」乗客の皆さまには、長期投資の旅を続けていただいていることに乗務員一同感謝申し上げますと共に、第12期の運用状況を報告させていただきます。

代表取締役社長 中野 晴啓

## 運用担当者の紹介

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、世界の優れたリソースを活用しながら、日本の生活者の方の長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、チームで運用を行っています。

代表取締役社長、CIO(チーフインベストメントオフィサー)

### 中野 晴啓

#### 主な役割

運用の基本的な方向性の指示

運用経験年数 28年

#### 経歴

1987年 明治大学商学部卒業

1987年 株式会社クレディセゾン入社。セゾングループの金融子会社にて債券ポートフォリオを中心に資金運用業務に従事した後、投資顧問事業を立ち上げ運用責任者としてグループ資金の運用のほか外国籍投資信託をはじめとした海外契約資産等の運用アドバイスを手がける。その後、2006年セゾン投信を設立。2007年4月から現職。



運用部長、ポートフォリオマネジャー

### 瀬下 哲雄

#### 主な役割

運用方針の決定、資産配分比率の決定、キャッシュフローの管理

運用経験年数 12年

#### 経歴

1996年 上智大学経済学部経営学科卒業

2006年 セゾン投信入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネジャー、2014年から現職。



## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) 合成指数	為替レート	投資対象ファンド組入比率											純資産総額	
	(分配) 税込み 分配金	期中 騰落率	%			期中 騰落率	米ドル /円	ユーロ /円	投資証券 組入比率	インステ テュー ショナル	U.S.500 ストック	ヨーロッパ ストック	アジア・ パシフィック ストック	エマー ジング・ マーケット ストック	U.S. ガバメント ボンド	ユーロ・ ガバメント ボンド		アジア・ パシフィック ボンド
第8期 2014年12月10日	円 13,561	円 -	% 19.5	% 15,194	% 19.2	米ドル /円 119.46	ユーロ /円 147.89	% 99.4	% -	% 26.7	% 11.8	% 3.9	% 2.3	% 5.5	% 21.7	% 19.4	% 8.1	百万円 90,887
第9期 2015年12月10日	円 13,406	円 -	% △1.1	% 15,127	% △0.4	米ドル /円 121.50	ユーロ /円 133.86	% 99.5	% -	% 27.3	% 11.5	% 4.2	% 2.0	% 4.7	% 23.7	% 18.7	% 7.4	百万円 107,188
第10期 2016年12月12日	円 13,181	円 -	% △1.7	% 15,188	% 0.4	米ドル /円 115.47	ユーロ /円 121.69	% 99.4	% -	% 28.3	% 10.9	% 4.1	% 2.1	% 5.6	% 23.9	% 17.3	% 7.1	百万円 126,394
第11期 2017年12月11日	円 14,667	円 -	% 11.3	% 16,919	% 11.4	米ドル /円 113.65	ユーロ /円 133.80	% 99.6	% -	% 27.4	% 10.7	% 4.0	% 2.0	% 5.9	% 24.6	% 18.8	% 6.2	百万円 153,979
第12期 2018年12月10日	円 14,200	円 -	% △3.2	% 16,479	% △2.6	米ドル /円 112.52	ユーロ /円 128.35	% 99.5	% 28.3	% -	% 9.5	% 3.8	% 1.9	% 5.6	% 25.9	% 18.7	% 5.8	百万円 166,494

- ・基準価額は1万円当たりです。
- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)とパークレイズ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組合せた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。参考指数は、設定日(2007年3月15日)の値を10,000として委託会社が計算したものです。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。
- ・騰落率は、小数点第2位を四捨五入しています。
- ・組入比率は、対純資産総額です。組入比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・為替レート(米ドル/円、ユーロ/円)は、わが国の対顧客電信売買仲値を利用しています。
- ・純資産総額の単位未満は、切り捨てて表示しております。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) 合成指数	期中 騰落率	投資証券 組入比率	投資対象ファンド組入比率										
	円	%				期中 騰落率	%	インステ テュー ショナル	U.S.500 ストック	ヨーロッパ ストック	アジア・ パシフィック ストック	エマー ジング・ マーケット ストック	U.S. ガバメント ボンド	ユーロ・ ガバメント ボンド	アジア・ パシフィック ボンド	
(期首) 2017年12月11日	円 14,667	% -	% 16,919	% -	% 99.6	% -	% 27.4	% 10.7	% 4.0	% 2.0	% 5.9	% 24.6	% 18.8	% 6.2		
12月末	円 14,785	% 0.8	% 17,004	% 0.5	% 99.1	% -	% 27.2	% 10.7	% 4.0	% 2.0	% 6.0	% 24.2	% 18.8	% 6.1		
2018年 1月末	円 14,789	% 0.8	% 17,075	% 0.9	% 99.1	% -	% 27.3	% 10.8	% 4.1	% 2.0	% 6.2	% 23.7	% 18.9	% 6.1		
2月末	円 14,295	% △2.5	% 16,612	% △1.8	% 99.0	% -	% 27.1	% 10.5	% 4.0	% 2.0	% 6.3	% 23.8	% 19.1	% 6.1		
3月末	円 13,872	% △5.4	% 16,142	% △4.6	% 99.0	% -	% 26.1	% 10.5	% 4.0	% 1.9	% 6.2	% 24.5	% 19.4	% 6.3		
4月末	円 14,237	% △2.9	% 16,540	% △2.2	% 99.0	% -	% 26.7	% 10.7	% 4.1	% 2.0	% 6.0	% 24.3	% 19.1	% 6.1		
5月末	円 14,117	% △3.7	% 16,412	% △3.0	% 99.1	% -	% 27.1	% 10.4	% 4.1	% 2.0	% 5.9	% 24.8	% 18.6	% 6.2		
6月末	円 14,243	% △2.9	% 16,578	% △2.0	% 99.0	% -	% 27.1	% 10.2	% 4.0	% 2.0	% 5.7	% 24.9	% 18.9	% 6.1		
7月末	円 14,603	% △0.4	% 16,950	% 0.2	% 99.1	% -	% 27.6	% 10.5	% 4.1	% 2.0	% 5.9	% 24.4	% 18.6	% 5.9		
8月末	円 14,690	% 0.2	% 17,053	% 0.8	% 99.1	% -	% 28.2	% 10.2	% 4.0	% 1.9	% 5.8	% 24.5	% 18.6	% 5.8		
9月末	円 14,938	% 1.8	% 17,376	% 2.7	% 99.1	% -	% 28.1	% 10.2	% 4.1	% 1.9	% 5.7	% 24.8	% 18.6	% 5.8		
10月末	円 14,095	% △3.9	% 16,431	% △2.9	% 99.0	% 27.6	% -	% 9.9	% 3.8	% 1.8	% 5.5	% 25.7	% 18.8	% 5.8		
11月末	円 14,397	% △1.8	% 16,687	% △1.4	% 99.0	% 28.6	% -	% 9.8	% 3.9	% 1.9	% 5.6	% 25.2	% 18.4	% 5.6		
(期末) 2018年12月10日	円 14,200	% △3.2	% 16,479	% △2.6	% 99.5	% 28.3	% -	% 9.5	% 3.8	% 1.9	% 5.6	% 25.9	% 18.7	% 5.8		

- ・騰落率は、期首比です。
- ・組入比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

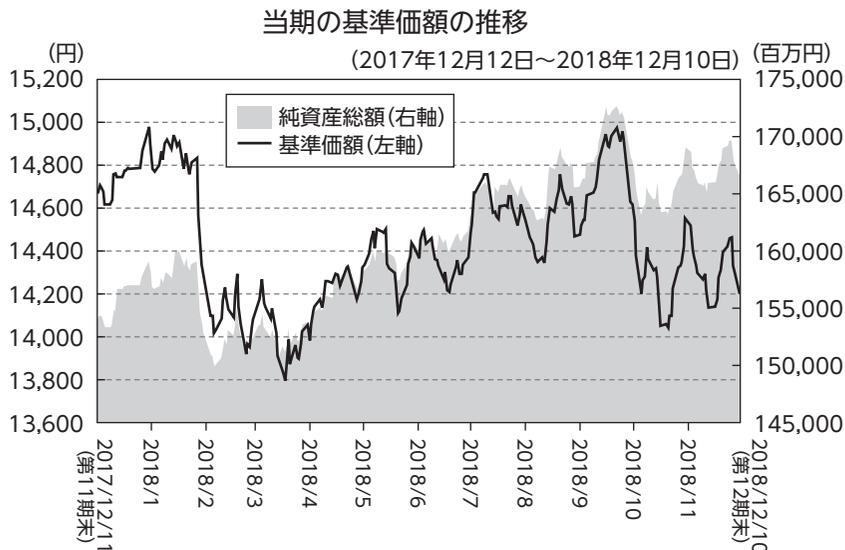
### 期中の基準価額等の推移

当ファンドの第12期(2017年12月12日～2018年12月10日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額の推移は、2018年3月27日に13,794円の最安値を、2018年1月9日に14,980円の最高値を付け、当期末の基準価額は14,200円となりました。設定から当期末までの基準価額の騰落率は42.0%、当期の騰落率は△3.2%でした。

#### 【基準価額のハイライト】

	基準価額	日付
安値	13,794円	2018年3月27日
高値	14,980円	2018年1月9日



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。
- ・表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## 【基準価額の主な変動要因】

当期は、株式に投資するファンドが米国に投資するものを除いて下落し、基準価額の下落要因となりました。債券に投資するファンドは、日本に投資するものを除いて下落し、基準価額の下落要因となりました。為替は対ドル、対ユーロで円高となり、基準価額の下落要因となりました。

## &lt; 基準価額のプラス要因 &gt;

米国株式に投資するファンド (米ドル) ※
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (円)

※2018年10月17日までは、バンガード®・U.S.500ストック・インデックス・ファンド、2018年10月18日からは、バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンドに投資

## 期中騰落率

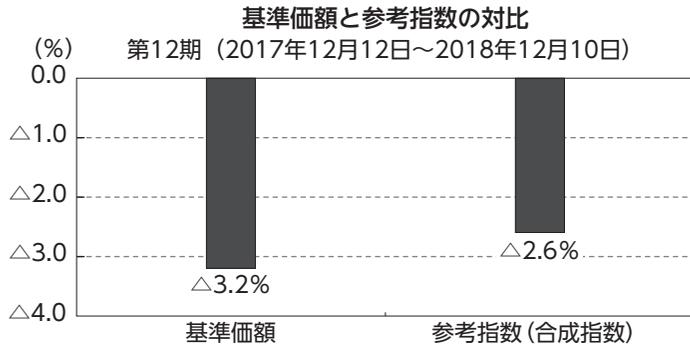
△3.2%

対ユーロでの為替レート (円高)
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (ユーロ)
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)
対ドルでの為替レート (円高)
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド (円)
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (ユーロ)
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド (米ドル)
バンガード・パシフィック・エックス・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド (米ドル)

## &lt; 基準価額のマイナス要因 &gt;

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス (配当込) とブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組み合わせた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。

## 当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き、定期積立プランなどのご購入により受益者の皆さまからお預かりした資金を利用して定められた投資比率に従って各ファンドへの投資を行い、株式と債券の比率が乖離した局面では、比率の高まったファンドを売却し、比率の低下したファンドを購入することにより、リバランスを行いました。その結果、購入から売却を差し引いた純投資額は、債券ファンドが株式ファンドをやや上回りました。

また、受益者の皆さまにご負担頂く費用を軽減することを目的として、9月に全ての投資先ファンドをより手数料の低いシェアクラスへ移行し、10月には米国株式に投資するアイルランド籍のファンドをより手数料の低い米国籍のファンドへ移行致しました。

## 投資環境

### 【株式市場の概況】

米国では、大規模な減税が行われて景気が堅調に推移したほか、情報技術関連企業の成長期待が高まったことから途中まで上昇したものの、貿易摩擦への懸念が強まったこともあり、長期間継続している景気拡大局面の終了が徐々に意識されるなかで、10月に物価上昇観測の高まりを受けて長期金利が一段と上昇したことをきっかけに、これまで上昇を牽引してきた情報技術関連企業の株式を中心に下落して上昇幅を縮小しました。その後は景気の先行きへの不透明感が拡がり、長期金利が低下するなかでも力強さを欠く展開となりました。

欧州では、引き続き英国の欧州連合(EU)離脱を巡る不透明感が拡がっているほか、貿易摩擦やイタリアの財政問題への懸念が拡がるなかで、前年に欧州地域の通貨が上昇したこともあって経済成長の鈍化が確認され、先行きへの不透明感が拡がり下落しました。

日本では、大規模な金融緩和策の副作用への懸念から金融緩和の拡大観測が後退したことや、貿易摩擦への懸念を背景に先行きへの不透明感が拡がったことを受けて下落しました。

新興国や太平洋地域では、米国で金融引き締め観測が高まって、資金が流出することへの懸念や新興国が抱える米国ドル建ての債務負担への懸念が強まったほか、米国との貿易摩擦の影響により中国などで経済成長の鈍化への懸念が強まり、下落しました。

### 【国債市場の概況】

米国では、連邦公開市場委員会(FOMC)で四半期ごとに0.25%ずつ政策金利が引き上げられたほか、大規模な減税が行われたことにより景気が堅調に推移したことから金融引き締め観測が強まって途中まで軟調な展開となりましたが、終盤に景気の先行きへの不透明感が拡がって反発し、結果的には小幅な下落にとどまりました。

ユーロ圏では、欧州中央銀行(ECB)が量的緩和の拡大策を2018年内に終了させる方針を示し金融緩和の縮小観測が強まったものの、経済成長の鈍化が確認され景気の先行きに対する不透明感が拡がるなかで、イタリアで財政問題への懸念が強まったことを受けて、安全資産としての需要が高まったドイツ国債が上昇し一方で、イタリア国債が大きく下落しました。

日本では、途中まで金融緩和の長期化観測を背景に堅調に推移しましたが、7月には日本銀行が金融緩和策の副作用を軽減するための政策変更を行い、金融緩和の拡大観測が後退して下落しました。その後は景気の先行きに対する懸念が強まったことを受けて上昇し、結果的には小幅に上昇しました。

### 【為替市場の概況】

ドルは、連邦公開市場委員会(FOMC)が四半期ごとに政策金利の引き上げを行ったほか、量的緩和のために購入してきた国債の残高を徐々に減少させていき、ユーロ圏や日本などに先駆けて金融緩和の縮小が行われるなかで、途中から先行きへの不透明感が拡がったものの景気が他の地域と比べて堅調に推移したことから、堅調に推移しました。

ユーロは、欧州中央銀行(ECB)が量的緩和の拡大策を2018年内に終了させる方針を示し、金融緩和の縮小観測が強まっているものの、域内の経済成長の鈍化が確認されたほか、英国の欧州連合(EU)離脱問題やイタリアの財政問題への懸念を背景に、先行きに対する不透明感が高まったことから、軟調な展開となりました。

円は、日本銀行が金融緩和策の副作用を軽減するための政策変更を行い、金融緩和の拡大観測が後退するなかで、先行きへの不透明感が高まりリスク選好が後退したことを背景に上昇し、対ドル、対ユーロで円高となりました。

また、米国で金融引き締めへの警戒が強まったことをきっかけに、新興国が抱える米国ドル建ての債務負担への懸念が強まったほか、新興国の金融市場からの資金流出への警戒が高まり、新興国の通貨が下落しました。

## 組入ファンドと為替レートの動き

## バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンドの前期末から組入れ終了日(2018年10月17日)までの騰落率\*は+5.37%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。また、2018年9月11日にインスティテューショナルシェア・クラスからインスティテューショナルプラスシェア・クラスへの移行を行ったため、それ以前の価格は、2018年9月11日の価格を基準に、インスティテューショナルシェア・クラスの価格を遡って換算しています。



## バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンドの組入れ開始日(2018年10月18日)から期末までの騰落率\*は-3.75%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



## バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は-8.36%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。また、2018年9月11日にインスティテューショナルシェア・クラスからインスティテューショナルプラスシェア・クラスへの移行を行ったため、それ以前の価格は、2018年9月11日の価格を基準に、インスティテューショナルシェア・クラスの価格を遡って換算しています。



## バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は-7.50%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。また、2018年9月11日にインスティテューショナルシェア・クラスからインスティテューショナルプラスシェア・クラスへの移行を行ったため、それ以前の価格は、2018年9月11日の価格を基準に、インスティテューショナルシェア・クラスの価格を遡って換算しています。



## バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は-4.58%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。また、2018年9月11日にインスティテューショナルシェア・クラスからインスティテューショナルプラスシェア・クラスへの移行を行ったため、それ以前の価格は、2018年9月11日の価格を基準に、インスティテューショナルシェア・クラスの価格を遡って換算しています。



## バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は-9.10%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。また、2018年9月11日にインスティテューショナルシェア・クラスからインスティテューショナルプラスシェア・クラスへの移行を行ったため、それ以前の価格は、2018年9月11日の価格を基準に、インスティテューショナルシェア・クラスの価格を遡って換算しています。



## バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は-0.62%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。また、2018年9月11日にインスティテューショナルシェア・クラスからインスティテューショナルプラスシェア・クラスへの移行を行ったため、それ以前の価格は、2018年9月11日の価格を基準に、インスティテューショナルシェア・クラスの価格を遡って換算しています。



## バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は-0.96%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。また、2018年9月11日にインスティテューショナルシェア・クラスからインスティテューショナルプラスシェア・クラスへの移行を行ったため、それ以前の価格は、2018年9月11日の価格を基準に、インスティテューショナルシェア・クラスの価格を遡って換算しています。



## バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の騰落率\*は+0.72%でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。また、2018年9月11日にインスティテューショナルシェア・クラスからインスティテューショナルプラスシェア・クラスへの移行を行ったため、それ以前の価格は、2018年9月11日の価格を基準に、インスティテューショナルシェア・クラスの価格を遡って換算しています。



## 為替レートの推移(対米ドル)

当期の対米ドルの為替レートは0.99%の円高(ファンドの基準価額にはマイナスの影響)\*でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。

(円) 期間中の為替レート(対米ドル)の推移

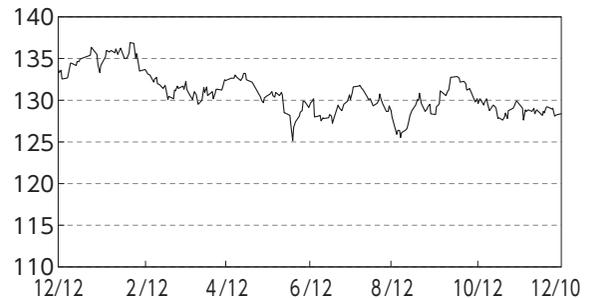


## 為替レートの推移(対ユーロ)

当期の対ユーロの為替レートは4.07%の円高(ファンドの基準価額にはマイナスの影響)\*でした。

\*当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。

(円) 期間中の為替レート(対ユーロ)の推移



## 今後の運用方針

定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。原則として新規の流入資金を利用して、定められた投資比率に沿うように分散投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合はファンドの売却と購入による比率の調整を行います。

運用部長 瀬下 哲雄

## 分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第12期
	2017年12月12日~2018年12月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,255

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## 1 万口当たりの費用明細

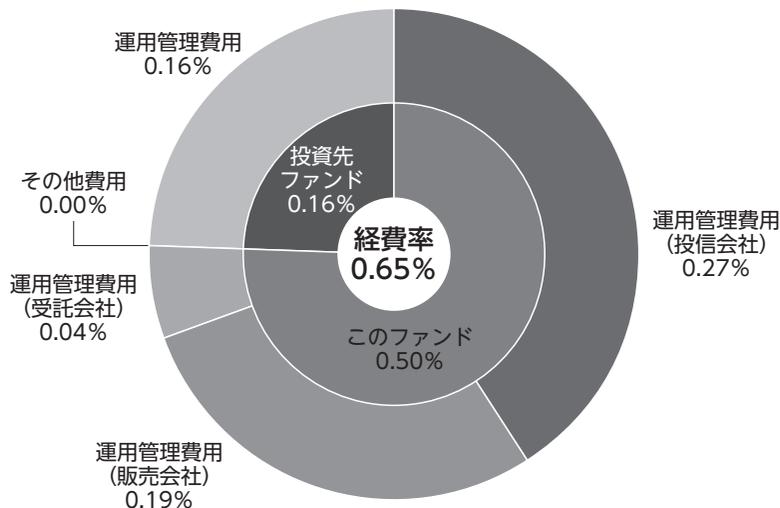
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2017年12月12日~2018年12月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	72円 (39) (27)  (5)	0.497% (0.271) (0.188)  (0.038)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ・ 委託した資金の運用の対価 ・ 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用  (監査費用)  (その他)	0  (0)  (0)	0.001  (0.001)  (0.000)	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	72	0.498	
期中の平均基準価額は14,423円です。			

- ・ 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・ 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・ 財産維持手数料は当期は発生していません。
- ・ 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・ 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

## &lt;参考情報&gt;

## 経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は0.65%です。



経費率(①+②)	0.65%
①このファンドの費用の比率	0.50%
②投資先ファンドの経費率 (運用管理費用以外の費用を含む)	0.16%

- ・①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ・②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。小数点以下第3位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- ・①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 期中の売買及び取引の状況 (2017年12月12日から2018年12月10日まで)

### 投資証券

投資証券		買付		売付	
		□数	金額	□数	金額
外	アメリカ		千口 千米ドル	千口 千米ドル	
	バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド	1,705	435,896	5	1,300
	バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	56	668,600	3	43,365
国	アイルランド		千口 千米ドル	千口 千米ドル	
	バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	515	15,250	2,619	416,329
	バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	16	2,892	6	1,045
	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	95	15,374	25	3,708
	バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	411	63,809	105	13,066
	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	426	13,937	60	2,852
	バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	180	37,911	59	9,212

- ・金額は受渡し代金です。
- ・千単位未満は切り捨てて表示しております。

## 利害関係人との取引状況等 (2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

- ・利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年12月12日から2018年12月10日まで)

該当事項はありません。

## 自社による当ファンドの設定・解約状況 (2017年12月12日から2018年12月10日まで)

該当事項はありません。

## 組入れ資産の明細

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細 (2018年12月10日現在)

ファンド名	期首(前期末)		当 期 末		比 率		
	単位数 又は口数	単位数 又は口数	評 価 額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
<b>株式ファンド</b>							
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 525	千口 457	千円 6,340,387	千円 6,340,387	% 3.8		
バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	千口 12,645	千口 -	千米ドル -	千円 -	% -		
バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド	-	1,700	419,297	47,179,331	28.3		
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	111	244	27,517	3,096,303	1.9		
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	416	763	82,756	9,311,797	5.6		
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千口 6,157	千口 993	千ユーロ 123,195	千円 15,812,125	% 9.5		
小 計	口数・金額		19,855	4,158	-	81,739,945	49.1
	銘柄数		5	5	-	-	
<b>債券ファンド</b>							
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 585	千口 902	千円 9,706,972	千円 9,706,972	% 5.8		
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 1,820	千口 3,545	千米ドル 382,866	千円 43,080,184	% 25.9		
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 959	千口 2,056	千ユーロ 242,652	千円 31,144,484	% 18.7		
小 計	口数・金額		3,364	6,504	-	83,931,641	50.4
	銘柄数		3	3	-	-	
合 計	口数・金額		23,219	10,663	-	165,671,586	99.5
	銘柄数		8	8	-	-	

・邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

・千単位未満は切り捨てて表示しております。

・比率は、純資産総額に対する各通貨の投資証券評価額の比率です。

・比率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

・ファンド・オブ・ファンズが組み入れた外貨建てファンドの明細には外国で投資されている円建て資産を含みます。

・バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンドを除くファンドは、2018年9月11日にインスティテューショナルシェア・クラスからインスティテューショナルプラスシェア・クラスへ移行しております。

## 投資信託財産の構成

(2018年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 165,671,586	% 99.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,272,449	0.8
投 資 信 託 財 産 総 額	166,944,035	100.0

- ・金額の千円未満は切捨てて表示しております。比率は小数点第2位を四捨五入しております。
- ・当期末における外貨建資産(165,671,586千円)の投資信託財産総額(166,944,035千円)に対する比率は99.2%です。
- ・外貨建純資産は、期末の時価を我国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=112.52円、1ユーロ=128.35円です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	166,944,035,793円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,272,449,504
投 資 証 券 (評 価 額)	165,671,586,289
(B) 負 債	449,082,234
未 払 解 約 金	38,010,450
未 払 信 託 報 酬	410,533,428
そ の 他 未 払 費 用	538,356
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	166,494,953,559
元 本	117,249,534,300
次 期 繰 越 損 益 金	49,245,419,259
(D) 受 益 権 総 口 数	117,249,534,300
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	14,200

期首元本	104,983,634,843円
期中追加設定元本額	20,461,750,219円
期中一部解約元本額	8,195,850,762円
1口当たり純資産額	1,4200円
・当運用報告書作成時点では監査未了です。	

## 損益の状況

当期自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	20,421,988円
受 取 利 息	27
そ の 他 収 益	21,468,438
支 払 利 息	△1,046,477
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△4,261,872,550
売 買 損 益	5,184,367,213
売 買 損 益	△9,446,239,763
(C) 信 託 報 酬 等	△797,629,620
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△5,039,080,182
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	33,195,999,876
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	21,088,499,565
(配 当 等 相 当 額)	40,154,416,189
(売 買 損 益 相 当 額)	△19,065,916,624
(G) 合 計 (D + E + F)	49,245,419,259
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	49,245,419,259
追 加 信 託 差 損 益 金	21,088,499,565
(配 当 等 相 当 額)	40,154,416,189
(売 買 損 益 相 当 額)	△19,065,916,624
分 配 準 備 積 立 金	33,195,999,876
繰 越 損 益 金	△5,039,080,182

- ・(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- ・(C)信託報酬等には信託報酬等に関わる消費税等を含めて表示しています。
- ・(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- ・計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(40,154,416,189円)および信託約款に定める分配準備積立金(33,195,999,876円)より分配対象収益は73,350,416,065円(1万口当たり6,255円)ですが、当期に分配した金額はありません。
- ・当運用報告書作成時点では監査未了です。

## お知らせ

---

---

### 当期中の約款変更について

2017年12月12日から2018年12月10日までの期間に実施した約款変更は以下の通りです。

●2018年3月10日付

信用リスク集中回避のための投資制限の追加に伴い、投資信託約款にて別に定める「運用の基本方針」、「同一銘柄の投資信託証券への投資制限」および「信用リスク集中回避のための投資制限」に所要の変更を行いました。

●2018年9月11日付

投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款にて別に定める「運用の基本方針」に所要の変更を行いました。

## <組入投資対象ファンドの内容>

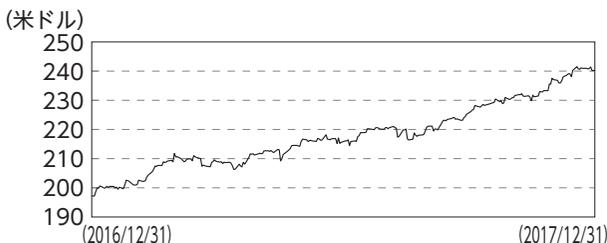
以下は、当ファンドが投資対象としている外国投資証券の運用状況です。

本書作成日時点で入手できる直近の情報として2017年12月末日現在の内容を記載しております。

- ・費用明細に記載されている運用管理比率とは、平均純資産総額に対する運用及び管理等にかかる費用の総額の比率を示したものです。
- ・投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・構成比率は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・株式の業種は世界産業分類基準(GICS)による分類です。
- ・債券の格付は、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスおよびスタンダード&プアーズが付与する情報をバークレイズから入手しています。格付機関3社すべてによる格付が取得できる場合はその中央値、格付機関2社による格付が取得できる場合は低い方の格付、取得できる格付が1社のみの場合はその1社の格付によります。

## 1. バンガード・インスティテューショナル・インデックス・ファンド

### ■基準価額の推移



### ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.02

### ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	業種	投資比率(%)
1	Apple Inc.	アメリカ	情報技術	3.8
2	Microsoft Corp.	アメリカ	情報技術	2.9
3	Alphabet Inc.	アメリカ	情報技術	2.7
4	Amazon.com Inc.	アメリカ	一般消費財・サービス	2.0
5	Facebook Inc.	アメリカ	情報技術	1.8
6	Berkshire Hathaway Inc.	アメリカ	金融	1.7
7	Johnson & Johnson	アメリカ	ヘルスケア	1.6
8	JPMorgan Chase & Co.	アメリカ	金融	1.6
9	Exxon Mobil Corp.	アメリカ	エネルギー	1.6
10	Bank of America Corp.	アメリカ	金融	1.3
組入銘柄数			505銘柄	

### ■国・地域別構成比率

資産の種類	国・地域	構成比率(%)	S&P500 Index ベンチマーク構成比(%)
株式	アメリカ	100.0	100.0

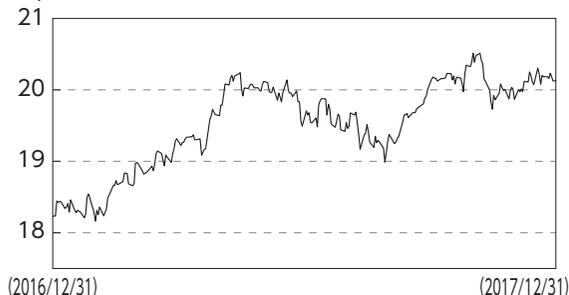
### ■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	S&P500 Index ベンチマーク構成比(%)
株式	情報技術	23.8	23.8
	金融	14.8	14.8
	ヘルスケア	13.8	13.8
	一般消費財・サービス	12.2	12.2
	資本財・サービス	10.2	10.2
	生活必需品	8.2	8.2
	エネルギー	6.1	6.1
	素材	3.0	3.0
	不動産	2.9	2.9
	公益事業	2.9	2.9
	電気通信サービス	2.1	2.1

## 2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移

(ユーロ)



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.30

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	業種	投資比率 (%)
1	Royal Dutch Shell plc	オランダ	エネルギー	2.9
2	Nestle SA	スイス	生活必需品	2.8
3	HSBC Holdings plc	イギリス	金融	2.2
4	Novartis AG	スイス	ヘルスケア	2.0
5	Roche Holding AG	スイス	ヘルスケア	1.8
6	Unilever	イギリス	生活必需品	1.7
7	British American Tobacco plc	イギリス	生活必需品	1.6
8	BP plc	イギリス	エネルギー	1.5
9	TOTAL SA	フランス	エネルギー	1.4
10	SAP SE	ドイツ	情報技術	1.1
組入銘柄数			459銘柄	

## ■国・地域別構成比率

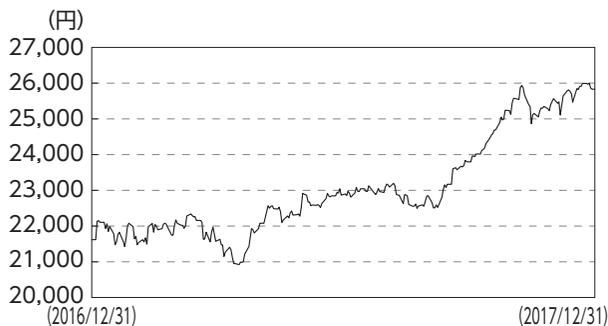
資産の種類	国・地域	構成比率 (%)	MSCI Europe Index ベンチマーク構成比 (%)
株式	イギリス	28.0	28.0
	フランス	16.8	16.8
	ドイツ	15.5	15.5
	スイス	12.6	12.6
	オランダ	5.6	5.6
	スペイン	5.1	5.1
	スウェーデン	4.2	4.2
	イタリア	3.7	3.7
	デンマーク	2.9	2.9
	ベルギー	1.7	1.7

## ■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率 (%)	MSCI Europe Index ベンチマーク構成比 (%)
株式	金融	21.0	21.0
	生活必需品	13.7	13.7
	資本財・サービス	13.2	13.2
	ヘルスケア	12.2	12.2
	一般消費財・サービス	10.5	10.5
	素材	8.4	8.3
	エネルギー	7.3	7.3
	情報技術	5.0	5.0
	電気通信サービス	3.8	3.8
	公益事業	3.6	3.6
	不動産	1.3	1.4

## 3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.23

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	業種	投資比率(%)
1	トヨタ自動車(株)	日本	一般消費財・サービス	4.6
2	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	金融	2.4
3	ソフトバンクグループ(株)	日本	電気通信サービス	1.8
4	本田技研工業(株)	日本	一般消費財・サービス	1.6
5	(株)三井住友フィナンシャルグループ	日本	金融	1.6
6	ソニー(株)	日本	一般消費財・サービス	1.6
7	(株)キーエンス	日本	情報技術	1.5
8	ファナック(株)	日本	資本財・サービス	1.3
9	KDDI(株)	日本	電気通信サービス	1.2
10	(株)みずほフィナンシャルグループ	日本	金融	1.2
	組入銘柄数		321銘柄	

## ■国・地域別構成比率

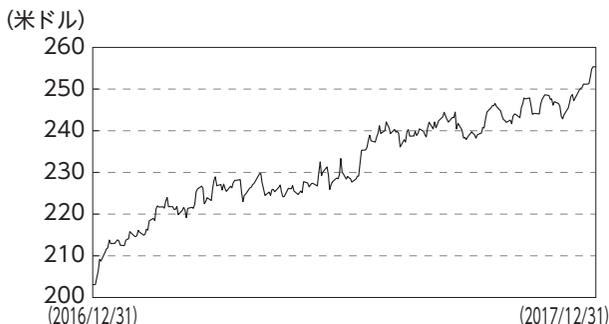
資産の種類	国・地域	構成比率(%)	MSCI Japan Index ベンチマーク構成比(%)
株式	日本	100.0	100.0

## ■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	MSCI Japan Index ベンチマーク構成比(%)
株式	資本財・サービス	21.6	21.6
	一般消費財・サービス	20.2	20.2
	金融	12.8	12.8
	情報技術	12.7	12.7
	生活必需品	7.6	7.6
	ヘルスケア	7.0	7.0
	素材	6.7	6.7
	電気通信サービス	4.8	4.8
	不動産	3.9	3.9
	公益事業	1.6	1.6
	エネルギー	1.1	1.1

## 4. バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.23

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	業種	投資比率 (%)
1	Commonwealth Bank of Australia	オーストラリア	金融	6.0
2	AIA Group Ltd.	香港	金融	5.6
3	Westpac Banking Corp.	オーストラリア	金融	4.6
4	BHP Billiton	オーストラリア	素材	4.1
5	Australia & New Zealand Banking Group Ltd.	オーストラリア	金融	3.6
6	National Australia Bank Ltd.	オーストラリア	金融	3.4
7	CSL Ltd.	オーストラリア	ヘルスケア	2.7
8	Wesfarmers Ltd.	オーストラリア	生活必需品	2.2
9	Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd.	香港	金融	2.0
10	CK Hutchison Holdings Ltd.	香港	資本財・サービス	1.9
組入銘柄数			152銘柄	

## ■国・地域別構成比率

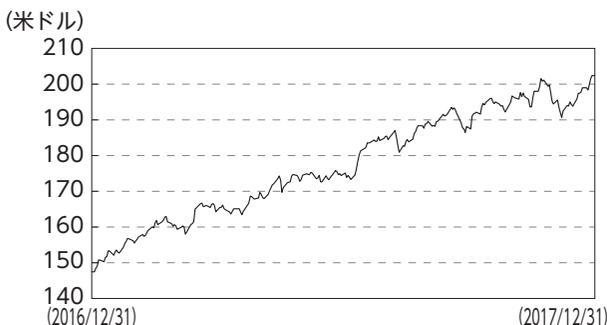
資産の種類	国・地域	構成比率 (%)	MSCI Pacific ex-Japan Index ベンチマーク構成比 (%)
株式	オーストラリア	57.6	57.7
	香港	29.8	29.8
	シンガポール	11.1	11.1
	ニュージーランド	1.4	1.4

## ■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率 (%)	MSCI Pacific ex-Japan Index ベンチマーク構成比 (%)
株式	金融	39.1	39.1
	不動産	14.6	14.6
	素材	10.4	10.4
	資本財・サービス	8.7	8.7
	一般消費財・サービス	6.2	6.2
	生活必需品	5.3	5.3
	ヘルスケア	4.7	4.7
	公益事業	4.4	4.4
	エネルギー	3.2	3.2
	電気通信サービス	2.7	2.7
	情報技術	0.7	0.7

## 5. バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.27

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	業種	投資比率(%)
1	Tencent Holdings Ltd.	中国	情報技術	5.4
2	Samsung Electronics Co. Ltd.	韓国	情報技術	4.8
3	Alibaba Group Holding Ltd.	中国	情報技術	3.6
4	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	台湾	情報技術	3.4
5	Naspers Ltd.	南アフリカ	一般消費財・サービス	2.2
6	China Construction Bank Corp.	中国	金融	1.4
7	Baidu Inc.	中国	情報技術	1.2
8	China Mobile Ltd.	中国	電気通信サービス	1.1
9	Industrial & Commercial Bank of China Ltd.	中国	金融	1.1
10	Ping An Insurance Group Co. of China Ltd.	中国	金融	1.0
	組入銘柄数	862銘柄		

## ■国・地域別構成比率

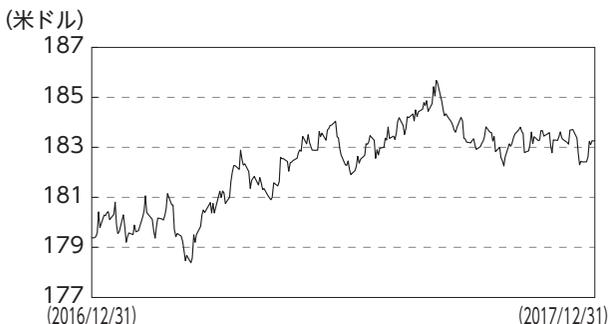
資産の種類	国・地域	構成比率(%)	MSCI Emerging Markets Index ベンチマーク構成比(%)
株式	中国	29.7	29.7
	韓国	15.4	15.4
	台湾	11.3	11.3
	インド	8.7	8.8
	南アフリカ	7.1	7.1
	ブラジル	6.8	6.8
	ロシア	3.3	3.3
	メキシコ	2.9	2.9
	マレーシア	2.4	2.4
	インドネシア	2.3	2.2

## ■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	MSCI Emerging Markets Index ベンチマーク構成比(%)
株式	情報技術	27.7	27.6
	金融	23.4	23.4
	一般消費財・サービス	10.2	10.2
	素材	7.4	7.4
	エネルギー	6.8	6.8
	生活必需品	6.6	6.6
	資本財・サービス	5.2	5.3
	電気通信サービス	4.8	4.8
	不動産	2.8	2.8
	ヘルスケア	2.7	2.7
	公益事業	2.4	2.4

## 6. バンガード・U.S.ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.20

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	証券種別	利率 (%)	償還年月日	投資比率 (%)
1	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	1.750	2019/11/30	1.53
2	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	0.875	2019/5/15	1.28
3	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	1.625	2022/8/31	1.13
4	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	1.375	2021/4/30	1.10
5	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	1.500	2020/7/15	1.10
6	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	2.250	2027/8/15	1.05
7	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	2.000	2022/11/30	1.04
8	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	2.375	2027/5/15	1.01
9	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	1.375	2020/2/15	1.01
10	US TREASURY N/B	アメリカ	国債証券	2.250	2024/11/15	0.94
組入銘柄数		376銘柄				

## ■残存期間別構成比率

期 間	構成比率 (%)
1年未満	2.7
1年以上5年未満	55.5
5年以上10年未満	25.0
10年以上15年未満	1.2
15年以上20年未満	0.4
20年以上25年未満	5.2
25年超	10.0

## ■格付別構成比率

格 付	構成比率 (%)
AAA	99.6
NR	0.4

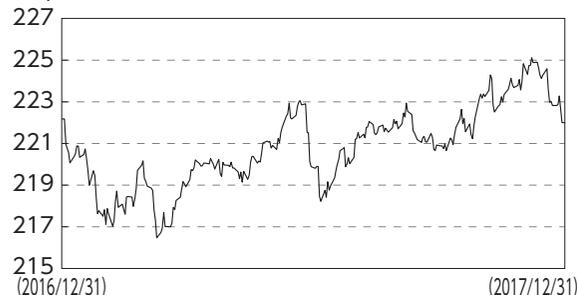
## ■国・地域別構成比率

資産の種類	国・地域	構成比率 (%)
債券	アメリカ	99.9
	イギリス	0.1

## 7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移

(ユーロ)



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.20

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	証券種別	利率 (%)	償還年月日	投資比率 (%)
1	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	1.000	2027/5/25	1.37
2	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	2.250	2024/5/25	1.12
3	REPUBLIC OF ITALY BOND	イタリア	国債証券	2.050	2027/8/1	1.06
4	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	1.750	2023/5/25	0.99
5	PORTUGUESE REPUBLIC BOND	ポルトガル	国債証券	2.875	2025/10/15	0.92
6	SPANISH GOVERNMENT BOND	スペイン	国債証券	5.900	2026/7/30	0.91
7	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	4.500	2041/4/25	0.82
8	REPUBLIC OF ITALY BOND	イタリア	国債証券	4.500	2020/2/1	0.80
9	FRENCH REPUBLIC BOND	フランス	国債証券	2.250	2022/10/25	0.79
10	FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY BOND	ドイツ	国債証券	5.500	2031/1/4	0.79
組入銘柄数				733銘柄		

## ■残存期間別構成比率

期間	構成比率 (%)
1年未満	0.5
1年以上5年未満	39.9
5年以上10年未満	33.5
10年以上15年未満	8.9
15年以上20年未満	6.9
20年以上25年未満	4.9
25年超	5.4

## ■格付別構成比率

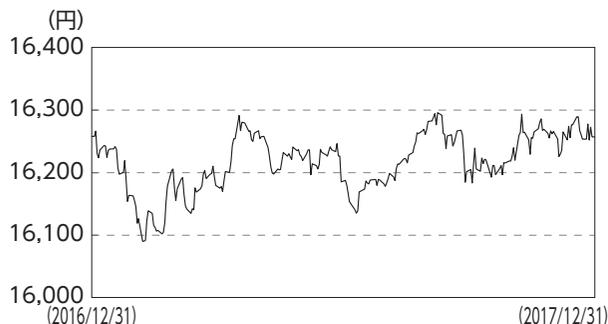
格付	構成比率 (%)
AAA	24.3
AA	36.9
A	3.5
BBB	35.0
NR	0.3

## ■国・地域別構成比率

資産の種類	国・地域	構成比率 (%)
債券	フランス	25.0
	ドイツ	21.2
	イタリア	20.8
	スペイン	12.5
	オランダ	5.6
	ベルギー	5.6
	オーストリア	3.7
	アイルランド	1.7
	ポルトガル	1.5
	フィンランド	1.4

## 8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

## ■基準価額の推移



## ■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率) (%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.20

## ■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国・地域	証券種別	利率 (%)	償還年月日	投資比率 (%)
1	第133回利付国債 (5年)	日本	国債証券	0.100	2022/9/20	2.38
2	第128回利付国債 (5年)	日本	国債証券	0.100	2021/6/20	2.18
3	第132回利付国債 (5年)	日本	国債証券	0.100	2022/6/20	1.88
4	第124回利付国債 (5年)	日本	国債証券	0.100	2020/6/20	1.59
5	第118回利付国債 (5年)	日本	国債証券	0.200	2019/6/20	1.48
6	第348回利付国債 (10年)	日本	国債証券	0.100	2027/9/20	1.42
7	第127回利付国債 (5年)	日本	国債証券	0.100	2021/3/20	1.38
8	第129回利付国債 (5年)	日本	国債証券	0.100	2021/9/20	1.35
9	第321回利付国債 (10年)	日本	国債証券	1.000	2022/3/20	1.23
10	第347回利付国債 (10年)	日本	国債証券	0.100	2027/6/20	1.21
組入銘柄数		425銘柄				

## ■残存期間別構成比率

期 間	構成比率 (%)
1年未満	0.6
1年以上5年未満	37.8
5年以上10年未満	20.2
10年以上15年未満	12.7
15年以上20年未満	14.4
20年以上25年未満	5.1
25年超	9.2

## ■格付別構成比率

格 付	構成比率 (%)
A	93.8
NR	6.2

## ■国・地域別構成比率

資産の種類	国・地域	構成比率 (%)
債券	日本	99.5
	アメリカ	0.4
	イギリス	0.1

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む)及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。

従って、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

- ・MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIヨーロッパ・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、ヨーロッパの先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIパシフィック・エクス・ジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、太平洋地域の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国および新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。パークレイズは、ライセンスに基づき使用されているパークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・パークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。
- ・S&P500は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。  
S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失(収入の損失、利益の損失、機会費用を含む)について一切の責任を負いません。

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することがありますのでご了承ください。

バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	→	U.S.500ストック
バンガード・インスティテュショナル・インデックス・ファンド	→	インスティテュショナル
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	→	ヨーロッパ・ストック
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→	ジャパン・ストック
バンガード・パシフィック・エクス・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→	パシフィック・エクス・ジャパン・ストック
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	→	エマージング・マーケット・ストック
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→	U.S.・ガバメント・ボンド
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→	ユーロ・ガバメント・ボンド
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→	ジャパン・ガバメント・ボンド

## TOPICS：《当社の直接販売の状況 第12期（2017年12月12日～2018年12月10日）》

## ○ 当期間のふりかえり

2018年 1月	「つみたてNISA」制度の開始
6月	「顧客本位の業務運営（フィデューシャリー宣言）」の成果指標（KPI）2017年度の実績を公表
8月	純資産総額（直販分） 2,300億円を突破

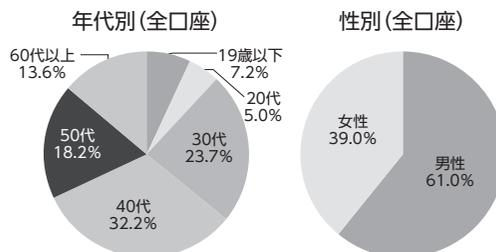
## ○ 2018年12月10日現在 お客さま口座数 139,109件(前期末比+6.9%)

当期間でお客さまは8,932名増え、口座の増加数は前期間と比べて減少しておりますが、間もなく14万口座の規模に伸ばしています。また、つみたてNISAをはじめとした非課税制度(NISA)は当期間中に多くのお申込みをいただき、合計4万名を超えるお客さまに活用いただいています。  
(前期間末のお客さま口座数130,177件、前期間の口座増加数+13,948件)

## ○ お客さまの特徴

年代別の構成は変わらず「資産形成層」の30代～40代が過半を占めています。

性別の構成は女性比率が年々高まっており、前期から0.8%増え39.0%になりました。



## ○ ファンドの設定・解約の状況

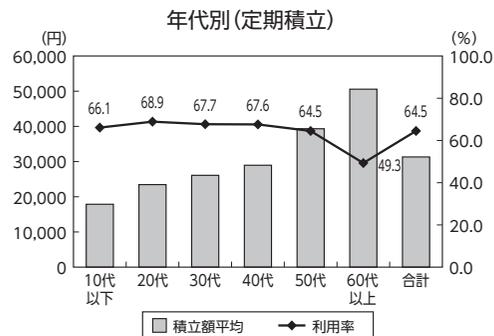
当期間も純資金流入が毎月継続しました。純資金流入額は267.6億円となり、前期間の金額(161.4億円)を大きく上回りました。

## ○ 定期積立プラン

当サービスの利用率は64.5%と継続して6割以上のお客さまにご利用いただいております。

また、積立額の平均は31,322円(前期31,016円)でした。

・定期積立プランは、当社が運用、販売するファンド2種類のいずれか、もしくは両ファンド定期積立サービスをご利用いただいている方を対象としてデータを作成しています。また積立額平均、利用率は2018年12月時点の数値であり、積立額の平均は増額月の増額分の金額を含まない平均値です。



つみたてNISA制度も新たにはじまり、長期資産形成のサービスを提供していく企業として、当社への一層の期待と責任の高まりを実感する期間になりました。これからも投資家の皆さまと共に長期で成長する会社であり続けるため、一つ一つのこだわりを大切に、お客さまのためのサービス提供に努めてまいります。

※お客さまの特徴や口座、金額は、保有しているファンドの種類や有無に関係なく、当社に口座を開設していただいている直接販売のお客さまを集計したものととなります。

※金額は、明記されたものを除き当社が運用、販売するファンド2種類を合計した数値となっています。